

くらし 新春特集 文化報道部 ☎ 075(241)6125 ✉ home@mb.kyoto-np.co.jp

### 「一生モノ」の資格を取る

「流れのままに生きよう」。そう決めたはずだったのに、2010年は悩みに悩み抜いた。田中八千代さん(47)川亀岡市川は昨年3月、24年間勤めていた法人が廃止となり、姉妹法人に転籍した。「事務とは何か」を教えてくれた先輩たちは遠方の別の職場に移り、慣れない仕事をこなすために、慌ただしく毎日が過ぎた。

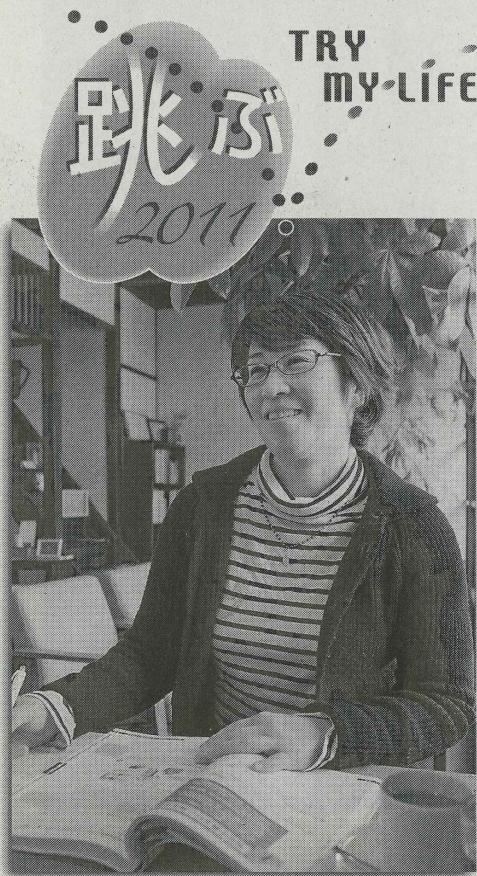
「やりがいを感じられない。このままでいいのか」。これまで仕事は日常の一部だった。職場環境が変わって初めて、仕事に存在意義を見いだしていた自分に気付いた。

2カ月前、同居の母から言われた。「今まで十分頑張ったんだから、好きなようにしたらいい。自然と、新しい道が開けると思うよ」。邦楽の師範として、83歳の今も教える母から認められ、肩の荷が下りたような気がした。

### 働く意味 考え続け

自分はいつも地面から「浮いているような、どこか半人前のような」コンプレックスを持って、おいつ子たちが好きで、おいつ子たちのよき相談役。「結婚していないことよりも、子どもを生まなかつたことのほうが残念」という。

## 誰かの役に立つ 仕事にやりがい



隣席のお客さんから「勉強がんばって」と声がかかる。行きつけの喫茶店で参考書を開く田中八千代さん(京都市上京区)

アドバイス



キャリアコンサルタント 川端美智子さん

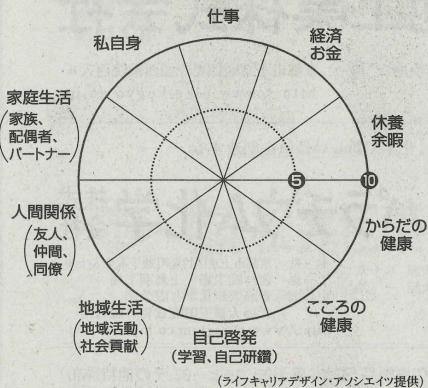
### 何が大切な基準に選ぶ

をじっくりかけて、スクールカウンセラーの勉強をされるのもいいと思いますよ。とです。生活をバランスの取

どちらの勉強をしようかとお悩みようですが、「課題や問題を抱えている人の役に立ちたい」という思いは同じですね。対象が違っただけです。誰の役に立つことが自身の喜びにつながるでしょうか。いっそ欲張って両方を目指してもいいと思います。

税理士や公認会計士は、一般的には会社に勤めて経験を積んだあと、独立開業されます。田中さんの場合、年齢的に再就職の門戸は狭くなるものの、資格がモノを言う仕事なので、経済的にはおすすです。ただ、田中さんは仕事の価値を自己実現に置いておられるようです。時間と努力

### ワーク・ライフ・バランスチェックシート



(ライフキャリアデザイン・アシエンツ提供)

れたものにするために「ワーク・ライフ・バランスチェックシート」を使ってみましょう。

満ち足りている状態を10として、現在のレベルにあるか記入し、塗りつぶします。バランスが取れていないのはどこでしょうか。自分が望むレベルも記入してみよう。何を大切に思っているかを知ること、将来設計に役立ちます。

選択に悩んだとき、人はいくつかの条件を並べて決めようとしてしまいます。でも、条件は変化するとき、条件が変わったときに選択を後悔しがちです。悩んだら、心の声に従いましょう。少しづつ条件が合わなくても、自分の心が動くほうが案外正解だったりするのです。

(岡本早苗)